

初版作成日: 2019年05月13日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: UBS UV黒インク(MRX72 UV LED用)

製品番号 (SDS NO): MUV52022211BK-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 産業用インクジェットプリンター用インク

供給者情報詳細

供給者: アルマーク株式会社(旧:株式会社ユニオンコーポレーション)

住所: 大阪府吹田市江の木町19-19

担当部署: マーケティング部

電話番号: 06-6369-2711

FAX: 06-6369-1298

製造元: United Barcode Systems(スペイン)

住所: Pol. Ind. Els Garrofers, 56 08340 Vilassar de Mar Barcelona. Spain

電話: +34 902 127 721

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2

皮膚感作性: 区分 1

発がん性: 区分 2

環境有害性

水生環境有害性(長期間): 区分 2

GHSラベル要素



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がんのおそれの疑い

長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

応急措置

- 漏出物を回収すること。
 特別な処置が必要である。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- 貯蔵
 施錠して保管すること。
- 廃棄
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択 :
 混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
アクリル酸 ドデシル エステル	25 -< 30	2156-97-0	-
1,6-ヘキサンジオールジアクリレート	10 -< 15	13048-33-4	1-306
アクリル酸,(5-エチル-1,3-ジオキサン-5-イル)メチル エステル	10 -< 15	66492-51-1	-
アクリル酸テトラデシル	10 -< 15	21643-42-5	-
ベンゾフェノン	5.0 -< 10	119-61-9	1-403
ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド	5.0 -< 10	75980-60-8	-
アクリル酸ヘキサデシル エステル	1.0 -< 5.0	13402-02-3	-
3-メチル-1,5-ペンタンジオールジアクリレート	1.0 -< 5.0	64194-22-5	-
メタクリル酸, 1,4-ブタンジイル エステル	1.0 -< 5.0	2082-81-7	-
フェニルビス(2,4,6-トリメチルベンゾイル)酸化ホスフィン	1.0 -< 5.0	162881-26-7	-
トリメチロールプロパントリアクリレート	< 1.0	15625-89-5	-

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

GHS分類区分該当有害成分

健康有害性シンボル該当成分

ベンゾフェノン

環境シンボル該当成分

ベンゾフェノン , 1,6-ヘキサンジオールジアクリレート

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

吸入した場合

呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後

も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

意識のある場合はコップ1-2杯の水を飲ませる。

直ちに医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂 を使用すること。

不適切な消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

消火を行う者への勧告

消火を行う者の保護

消火作業者は適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

関係者以外の立ち入りを禁止する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

施錠して保管すること。

推奨保管温度: 20°C

避けるべき保管条件

日光およびUV光、熱、湿度
容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：非水溶性液体

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点：100°C

引火点：100°C

比重/密度: 1.05

溶解度

水に対する溶解度：微溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

常温常圧で安定

避けるべき条件

衝撃、摩擦、火気またはその他の着火源

UV光、日光

混触危険物質

酸化性物質、強還元性物質

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(ベンゾフェノン)

rat LD50=1900mg/kg (NTP TR533, 2006)

(1,6-ヘキサンジオールジアクリレート)

rat LD50=5000mg/kg (HSDB, 2004)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]
 (ベンゾフェノン)
 rabbit LD50=3535mg/kg (NTP TR533, 2006)
 (1,6-ヘキサンジオールジアクリレート)
 rat LD50=3600mg/kg (HSDB, 2004)

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]
 (トリメチロールプロパントリアクリレート)
 ラビット Draize test: 中等度の刺激性 (IUCILID, 2000 et al)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]
 (ベンゾフェノン)
 ラビット 14日後に回復 (PATTY 6th, 2012)
 (トリメチロールプロパントリアクリレート)
 ラビット Draize test: 中等度の刺激性 (IUCILID, 2000 et al)

感作性

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]
 (1,6-ヘキサンジオールジアクリレート)
 cat. 1; HSDB, 2004
 (トリメチロールプロパントリアクリレート)
 cat. 1; guinea pig : DFGOT vol.16, 2001

発がん性

[日本公表根拠データ]
 (ベンゾフェノン)
 cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 101, 2013 et al.)
 (ベンゾフェノン)
 IARC-Gr.2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない
 (ベンゾフェノン)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分2]

[日本公表根拠データ]
 (ベンゾフェノン)
 肝臓、腎臓、血液系 (NTP TR 533, 2006; PATTY 6th 2012)

その他情報

この調合製品自体のデータは得られていない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性
 地下水などの水流に入った場合には、水生生物などの環境へ作用を及ぼす。

水溶解度

(ベンゾフェノン)
 溶けない (ICSC, 2010)

残留性・分解性

(ベンゾフェノン)
 BODによる分解度:0% (既存点検, 1980)

生体蓄積性

(ベンゾフェノン)

log Pow=3.38 (ICSC, 2010)

その他情報

この調合製品自体のデータは得られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

この物質は有害廃棄物として処理する。

汚染容器及び包装

容器は有害廃棄物として処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号：3082

正式輸送名：

環境有害物質、液体、N.O.S.

分類または区分：9

容器等級：III

指針番号：171

特別規定番号：274; 331; 335; 375

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号：3082

正式輸送名：

環境有害物質、液体、N.O.S.

分類または区分：9

容器等級：III

特別規定番号：274; 335; 969

IATA 航空危険物規則書

国連番号：3082

正式輸送名：

環境有害物質、液体、N.O.S.

分類または区分：9

危険性ラベル：Miscellaneous

容器等級：III

特別規定番号：A97; A158; A197

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 該当

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機則に該当しない製品

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

1,6-ヘキサンジオールジアクリレート; ベンゾフェノン

消防法

第4類 引火性液体第3石油類非水溶性 危険等級 III(指定数量 2,000L)

船舶安全法

有害性物質 分類9

航空法

その他の有害物件 分類9

環境有害性

廃棄物処理法

特別管理産業廃棄物:特定有害産業廃棄物

ジフェニル-2,4,6-トリメチルベンゾイルホスフィン=オキシド

適用法規情報

この物質に関する貴国又は地方の規制については、貴社の責任でご調査願います。

記載した法規情報は意図的成分に関するものです。非意図的成分、サプライヤから開示を受けていない不純物に関する情報は含まれていません。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

IMDG Code (Amendment 38-16) 2016

IATA 航空危険物規則書 第59版 (2018年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2017 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

この製品安全データシートは、製造者からの情報を元に編集したものであり、この製品の安全な使用と取り扱いのために必要な注意事項をはじめ、危険性に関する情報を記載し、関係者に周知するためのものである。本データシートは、この製品が目的とする使用における健康、安全および環境問題に関する手引きであり、使用に際しての技術的性能を保証するものではない。また、このデータシートに記載された情報は、現在知りえた情報であり、その正確性、信頼性または完全性を保証するものではない。この使用および廃棄に際しては、適用を受ける法規を確認し遵守することが必要である。また、各注意事項は通常的な取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点に配慮が必要である。この製品を他の目的に使用してはならない。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成29年度)です。但し、当社の判断に基づいて、データを一部変更しております。